

### 第3回 水防活動活性化調査会 議事要旨

日時：令和元年5月14日（火） 13:00～15:00

場所：三田共用会議所第3特別会議室

#### <団員確保・団員支援に係る取組>

- 水防工法でも手に負えないような状況時に水防団員から「退避します」という情報がツイッター等で発信できれば、地域の人たちにとっても安全確保につながるアラートになる。
- 一般向け・専門家向け等の受け取る側の知識に応じた広報も必要ではないか。
- 平常時の水防団員数、洪水時の出動団員数の円滑な確保のため、水防活動について社会や団員の職場である企業の理解度向上が必要であり、国で全国的な広報を行って欲しい。
- 従来の水防工法でも対応できない事態も発生しており、住民避難の支援を行う団員も必要としている発信も必要である。

また、近年の気象状況の変化に応じた水防活動について検討すべき時期に来ているのではないか。

## <水防力の維持・向上に係る取組>

- 水防団への活動支援を積極的に展開すべきであり、水防資機材についても、既存制度にとらわれない財政面の支援の枠組みや、出水時に類似の活動をする河川管理者が資機材を購入しておいて水防団にも貸し出すなど、具体的な改善につながる工夫を考えるべき。
- 国土交通省等と地域の水防団とのダイレクトな情報共有も必要ではないか。
- 水防活動を建設業者にしてもらうのは災害協定を活用していただければ良いが、危険を伴う作業のため事故の際の補償をどうするかは課題。
- 重要水防箇所では訓練をすれば、水防の備蓄をどこに、どこから材料を持ってくるのか、人が何人ぐらい必要かということもわかるのではないか。
- 短期間で危険度が高まるような気象条件では、水防工法を中心とした活動下で危険にさらされる団員が生じてしまうことから、現場・指揮をする側のどちらの判断も助けるような情報の提供をしていく必要がある。
- 施設の能力を超えた災害に対して建設業だけではなく自衛隊の出動も検討すべきではないか。

### <団員の士気高揚に係る取組>

- 現場の方たちがリアルタイムにツイッター等で状況を発信して頂けるとマスコミはニュースとして活用できる。
- 現場は危ないからということではなしに、できるだけ近くに来て、いろんな経験も含めてやってもらえることが水防団の活動をもっと理解してもらえる。

### <共通の取組>

- 水防ポータルに、ツイッターなどのSNSのような手軽な感覚で、水防活動の報告を掲載できる仕組みも必要ではないか。
- 水防ポータルに、子供向けサイトを作ったらどうか。
- 水防災意識社会の再構築のため、小学生の時に覚えた事は一生忘れないので、住んでいる地域でどんな事が起こるのか等を基本として学校教育の中で教える事が重要ではないか。